

Choho

長崎大学広報誌
[チョーホー]

長崎大学

NAGASAKI UNIVERSITY

ISSN 1347-7994

Spring

Vol.

43

Choho

長崎大学広報誌 [チョーホー]

Vol.43

長崎大学ホームページ <http://www.nagasaki-u.ac.jp/>



特集1

新生!図書館

特集2

進化する
長崎大学病院

学びの 森の 風景

Scene 5



文教キャンパスの薬学部校舎の玄関脇に、早春のころ薄紅色の花をつけるアズキの木がある。以前薬学部の菊谷元資教授が退官記念に植樹したもので、桜より濃いピンク色の花々が、卒業の決まった学生たちを祝福するかのように咲き誇ります。長大キャンパスには、あちこちにこうした記念植樹があり、なかにはヒトツバタゴや被爆ザクロの3世など、貴重な樹木も植えられています。新入生で植物の好きな方は植物図鑑片手にウォッチングして歩くのも楽しいですよ。

撮影:沖田夏樹(経済学部 職員)



特集1

新生! 図書館

4月1日に、長崎大学附属図書館がリニューアルオープンしました。学生も一般の方も、さあ、新しい図書館に出かけましょう!

長崎大学附属図書館がOPEN!



学長室
だより

創造的学びのために

東日本大震災と福島原発事故という大震災から2年、多くの人々のがんばりにもかかわらず被災地復興への確たる道筋は未だ見えていません。これから、被災地のニーズに寄り添った息の長い支援が必要になります。長崎大学の福島支援活動も、川内村に拠点を設け村民の皆さんの帰村支援を開始するなど、新たな段階に入ります。

この間の教訓は、被災地のみならずこの国の未来は不確実性の闇の中にあること、そして今まさに新しい価値観、新しい創造が必要であることです。

次世代を担う長大生には創造性あふれる人材として育ててほしいものです。そのためには、受身ではなく、主体的に学ぶ、創造的学びの技法を身につけ、それを通してこれまでの常識を超越することのできる想像力を培わねばなりません。

本を読み、情報を集め、考え、表現し、議論する。そして決断し、行動を起こす、これら一連のプロセスが創造的学びの技法であり、想像力の源泉となります。そもそも、文字という単なる記号の羅列である文章を読むという行為は想像のプロセスそのものであり、



爾来、読書は想像力養成の最も有効な手段でした。しかし、現代の学生たちには、それを起点に、情報収集、ディベート、そしてアクションにつなげる資質が要求されます。

この度新生なった文教キャンパスの図書館には、図書・文献・資料を収集管理する機能に加えて、学生諸君が情報ネットを駆使し、互いの情報を交換し、議論するための新しい機能が加わりました。新生図書館は、長崎大学の新しい顔として、新しい学びの拠点としてスタートをきります。

長崎大学長 片峰 茂

CONTENTS

長崎大学広報誌
「チョーホー」
Choho Vol.43

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。

学長室だより	創造的学びのために	1	表紙のはなし
特集1	新生! 図書館	2	オープンにむけて急ピッチで準備を進める図書館に、一足先に入った撮影隊。モデルになってもらった学生たちも「うおお、キレイになった〜!」「感激!」と興奮気味でした。「オープンしたらまた来て、しっかり勉強してくださいね」という職員の声に「はい!」と一回元氣よく。
特集2	進化する長崎大学病院	9	表紙モデル/小北健人さん(経済学部)
卒業生に聞く	青来有一さん	15	
	寺島実郎から長大生へのメッセージ	17	
	グラバー図譜「テンジクダイ」	19	
Information	平成25年度 長崎大学公開講座	21	
	長崎大学「通」クイズ	22	
	編集後記	22	



新図書館長

森 望

知の貯蔵庫から さらに踏みこんで センスを磨く空間として

待ちに待った
新しい附属図書館が
完成しました!
一年間の改修工事を経て
姿を現したのは
地下一階、地上三階の
ガラス張りの建築物。
文教キャンパスの
新しいランドマークとして
内外の注目を
一身に浴びています

学生はもとより 一般の方にも 使ってほしい

この四月から新しく図書館長に就任された森望先生にお話を聞きました。

「どうですか、明るいでしょうか? 地上三階はガラス張り。窓を大きく取っているので、光を取り込んでかなり気持ちのいい空間になりました。これまで一年間不便をかけていた学生たちはもちろん、新入生の皆さんにも存分に使ってほしいですね。」

やはり大学には質のよい図書館が欠かせません。こうしてみると存在感は大きいですね。

「はい。大学にとって、図書館は知の宝庫、貯蔵庫。もちろん、昔から本で勉強をするということは基本としてありました。しかし、今では情報拠点としての役割も大きいですね。現代は誰もがパソコンやスマートフォンなどを身近に抱えながら、ネットベースで世界の情報にもアクセスしていますね。しかし、現実には玉石混濁の情報も氾濫しています。そんななかで質のいいものをどう選んでいくか。こ

れを教員の見識で教えていかなければいけません。例えば、世界の大学の公開サイトの利用方法など、大学の図書館で教えられることは多いと思います。」

今回のリニューアル、特にポイントは何ですか?

「いくつか特徴的なことをいえます。まず、一階にラーニングコモンズという学生たちがディスカッションのできるスペースを作ったこと。これは二、三階の自学スペースとは趣きが異なります。ここでどんどん議論をしてほしいですね。哲学でもそうですが、そもそも対話をすることで啓発的なものが得られます。一対一では行き戻りの単純な動きですが、三人以上になると議論は「まわる」、つまり相乗効果が出てくるのです。これは「おしゃべり」とは違いますよ。何が勉強を深めていくのか、高い意識を持つてほしいですね。」

一般の方の利用もできるんですか?

「はい、カウンターで手続きをさせていただければ、館内はご利用できますし、今回新しく作ったギャラリーの企画展なども観ていただけます。長大の図書館

が一般利用できることをあまり知られていないようなので、リニューアルを機に足をお運びいただきたいですね。地域に開かれる大学の突破口になれば、と思っています。ただ試験前などは学生優先とさせていただきます。公立の図書館とは違い、大学の図書館はあくまで学生のためにあるというのが基本姿勢です。」

これまでは試験前など、ギチギチの大混雑でした。

「席数は一〇〇席増やしました。そのぶん会議室や館長室は狭くなりましたが笑。」

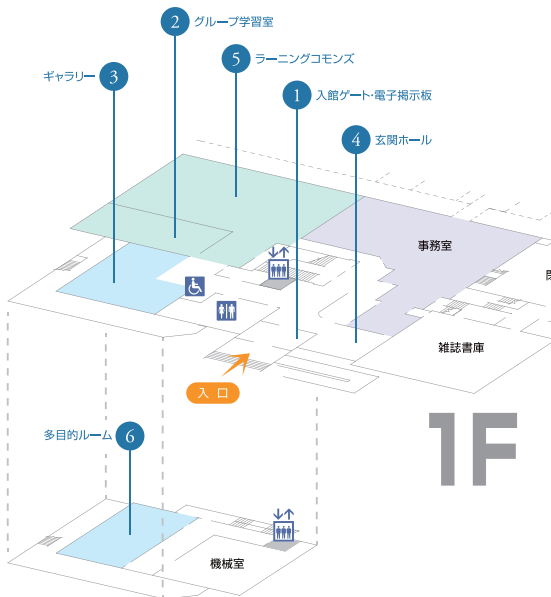
答えのある 問だけを 解くのではなく

「館内には、大学の勉強に必要な本はもちろん、専門書のほかにも教養教育に使われるさまざまなジャンルの本もしっかり揃えています。成長期に本を読み、情報を仕入れて自分を変革して

いってほしいですね。私は常々不思議に思っていることがあり、自身が理系なので、当然、理系の本は読むのですが、真実

が書いてあってもそれに感動することはあまりない。しかし文学などは必ずしも正解があるとは限らないのに、その世界に夢中で没頭することもあります。一方、学生は学校で正解のある問いばかりを解いている。ところが、大学を卒業して社会に出れば、まさに正解のない世界で生きていくわけですから、「何が問題なのか」を見つけれられる人間になることを求められる。問題解決能力も必要ですが、問題を発見する能力、それはクリエイティブティ「創造と、イマジネーション」想像。この二つの力を、若いときに磨くことこそが大切なのではないのでしょうか。大学の知、図書館を、そのセンスを磨くことに使ってほしいのです。これからの図書館は「知の貯蔵庫」からより広く脱皮する必要があります。目指すのは「知・学・創・遊」。多少の遊び心を持ちながら未来にチャレンジする寂智を育む空間でありたいですね。」

もりのぞむ 昭和28年、諫早市生まれ。東京大学薬学部卒。同大学院から東邦大学助手のち昭和59年に渡米。南カリフォルニア大学助教授を経て10年後帰国。平成16年より長崎大学医学部教授。平成25年4月より長崎大学附属図書館館長。



6 多目的ルーム

会議のほか、モデル授業やイベントなど、使い方はアイデア次第。



長崎大学文芸キャンパス内
TEL.095-819-2193
<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>

そして、地下1階に新しくできたのが多目的ルーム。講義や会議はもちろん、上映会やミニコンサートなども催せる使い勝手のよい空間です。以前の図書館は古く、大雨の際は地階が浸水するなどの問題もあったのですが、リニューアルで防水工事も万全です。

5 ラーニングcommons

お互い議論し合う空間。ここにはシラバスに出てくるテキストやDVDも並びます。以前からあるメディアルームのほか、ここにもパソコンスペースができました。



4 玄関ホール

玄関を入ると、右手には新聞を読んだり、待ち合わせにも便利なオープンスペース。



3 ギャラリー

常設コーナーでは古写真や『グラバー図譜』を展示。また企画展として、5月上旬までは井川惺亮名誉教授の現代絵画展を開催。その後も書道展などを予定しています。



1 入館ゲートにある電子掲示板

玄関を入ってすぐのゲート。一般の方もカウンターで手続きをしていただければ、ゲートを通れます。館内の情報が提示される電子掲示板(写真左上)でまず最新情報をチェック。



2 グループ学習室

プレゼンテーションの練習にぴったりなのがこのグループ学習室。大小2部屋あります。



いろいろ使える多目的ルーム

学生同士が共有しながらテキストやDVDも並びます。以前からあるメディアルームのほか、ここにもパソコンスペースができました。

一階は人が集まる
 commons Ⅱ 共有空間
 ます変わったのは、入口が二階から一階になったこと。前面がガラス張り、光が差し込む明るいエントランスになっています。もちろんスロープ付きでバリアフリー仕様。「図書館は敷居が高く入りにくい」なんて、もう言わせません。かつて一階と二階に分かれていた事務室機能も一階に集約、スタッフや利用者の利便性も向上しました。ゲートがあります。長大生ならば学生証で通過でき、一般の方でもカウンターで手続きをしていただければ、入れます(登録申請すれば利用者証も発行されます)。ゲートを入ると左側には新しくギャラリーが誕生。古写真や『グラバー図譜』などの常設展のほか、折々で変わる企画展が予定されています。さらに進んでみましよう。細い通路を左に抜けるとテーブルとイスが並ぶ大きな空間が。これがこの新しい図書館の目玉ともいえる、ラーニングcommons。図書館のリニューアルに尽力した姫野前図書館長にもお聞きしました。「今、大学では、教わるというより、自ら学ぶ自学自習に変わりつつあります。ラーニングcommonsのcommonsとは共有空間という意味。

じっくり閲覧、深く学習 古写真もここで保存

読書や学習に集中できる広い閲覧室が自慢の2階、3階。世界中から注目されている古写真コレクションや日蘭交流史の貴重資料など、長崎大学の大切な財産もここに収蔵されています。

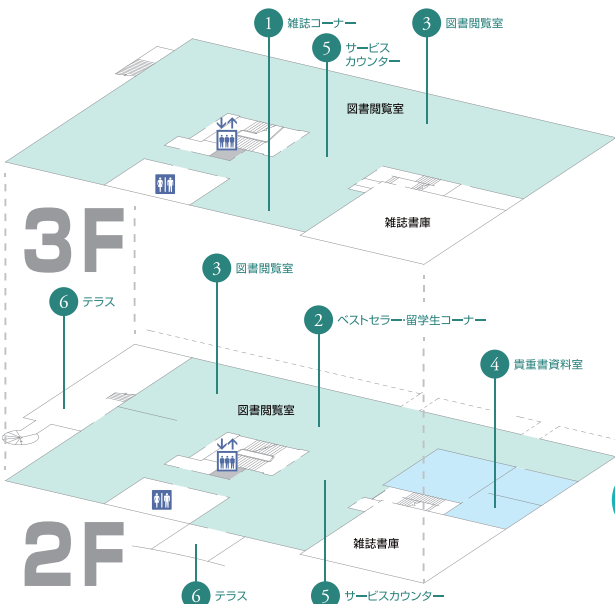


テラスの光で明るい書架。



3 図書閲覧室

テーブルタイプのほか、窓に向かったカウンタータイプも。肘が隣の人にぶつからないゆったりしたレイアウト。



1

雑誌コーナー

3Fの雑誌コーナーには学術雑誌を配架しています。1Fには気軽に読める軽雑誌(一般雑誌)、2Fには長大関係の資料を配架しているコーナーもあります。



2

ベストセラー・留学生コーナー

2Fには、新刊や旅行ガイドブックなどのベストセラー、留学生のための日本語学習テキストなど、コーナー別に並んでいます。

4

長崎医学校(長崎大学医学部の前身)の学生たち



長崎の病院(長崎大学病院の前身)



貴重書資料室

幕末・明治期日本古写真コレクション等の保存及び閲覧室。昨年購入したオランダ人医師マンズフェルトの画像データも興味深いものです。近代医学校成立時のようすがよくわかります。

5 サービスカウンター

各階には気軽に相談できる浮島のようなカウンターが出現。資料探してわからないことは、職員がパソコンを使いながらしっかりナビゲートしてくれます(右は学術情報サービス課の山本知美さん)。



6

テラス

新しく生まれた空間で、光が降り注ぐ木々が目の前に。



古写真コレクション、 日蘭文庫等の 貴重資料

長大図書館といえば、古写真のコレクションが全国的に有名。現在所蔵している「幕末・明治期日本古写真」のうち六七七八点はデジタル画像としてデータベース化されています。海外をふくめ二三四万件以上のアクセスがあり、テレビや雑誌への資料提供でもおなじみです。研究者が予約すれば閲覧できるスペースも二階に設けられました。そんな貴重資料を大切に保管し、温湿度管理機能も万全の資料室が整備されました。

新しいニュースもあります。

「昨年、解散した日蘭学会から日蘭の交流史に関する貴重資料やフリス元オランダ大使のコレクションなどがこの図書館に寄贈されました。整理にはこれから数年かかりそうですが、適切な環境で保存されることは長崎と長崎大学にとって大変意義があります」

いかがですか? 新しくなった図書館が、これからの長崎大学のシンボルになりそうです。ぜひ足を運んで、使ってみてください。

一〇〇席増えて 読書にも集中

二階、三階とは言えば、一階とは打って変わって、静かな環境の閲覧室が設けられています。席も一〇〇席増え、イスとイスの間隔もゆったりめ。読書や学習に集中できそうです。そして、ここにもひと工夫。フロアの真ん中にはスタッフが常駐するコーナーが設けられるのです。「館全体でサービス機能を強化します。例えば知りたいことをどう調べたいかわからない、パソコンの操作に自信がないといった学生に対して、情報提供できるアイランド機能、サービスの浮島のようなイメージですね。」

「附属」が取れて
改革もスピードアップ

最近、長崎大学病院に行ったことはありますか？二〇〇五年から段階的に改修工事をしており、その変わりようは、久しぶりに足を運んだ人の多くがびっくりするほど。このプロジェクトは十年計画で現在全体のほぼ四分の三が仕上がりました。今年からは最終段階の「新中央診療棟」の工事に着手、二〇一六年の完成を目指します。

建物だけではなく、外来の診療システムや病室、医療従事者が働く場としての環境も、ここ数年で急速に変化しているのです。中心となつて進めてきた河野病院長にお話を聞きました。

「やはり一番大きいのは、組織体系が変わったことでしょう。これまでは長崎大学医学部附属病院、歯学部附属病院だったが、「附属」ではない、独立した大学病院単体の部署になりました。意思決定も速いし予算も見える。大胆な改革もやりやすい。全国の大学病院のなかでも先進的な試みです。」

かなり注目されているそうですね。「本来、長崎大学医学部は一五〇年以上の日本一古い歴史と伝統があります。これにプラスして個性を際立たせること、医学を志す学生たちが、医学の中でも特に何を目指すかとなったとき、強み

長崎で医療を学ぶ
それは医療を通じて
世界へ貢献するということ



河野 茂
長崎大学理事・病院長

1950年生まれ。長崎大学医学部卒業。
長崎大学医学部教授、医学部長を経て2009年4月より現職。
専門は呼吸器内科学。

がはつきりしている方が将来の道を選びやすいでしょう。うちの場合特に被ばく医療と感染症に強いということ。これを具体的に大学病院の中に取り込み、加えて高度な救急医療にも特化した「国際医療センター」が二〇一一年に完成しました。専門性をはつきりさせることで、優秀な人材が集まり、学びの質が高くなるのです。先の震災のときもすぐに被災地へ

駆けつけ、今も継続的な支援をしているのは、災害医療をやりたいという若い人が多く、また、病院のサポートが可能だったから。被ばく医療にしても、チェルノブイリ原発事故の研究ネットワークが今の日本に役立っています。」

最近日本の将来を悲観する若者も多くなって、ちよと元気がないようですね。

「いや、だからこそ私は声を大に

高度医療の拠点
新中央診療棟

さて、これから三年間で最後の

仕上げの「新中央診療棟」が出来るとお聞きしています。これはどんなものになりそうですか？

「まずこれまで十五あった手術室が十九になります。ICU（集中治療室）の病床も二十床に増えます。検査室にも最先端の機器を配備します。そして屋上にはハリポート。」

離島などからも患者を運べますね。

「もちろん地域医療にも貢献できますが、一番大きいのは、臓器などの移植医療を円滑に行えるようになること。臨床研究センターなど、臨床研究や教育もトップレベルのものを展開していきます。」

高度医療の拠点、完成が待ち遠しいですね。ではこれまでの七年間で長崎大学病院の何がどのように新しく変わったかテーマ別にご紹介しましょう。



2010年に完成
外来・研究棟（一期工事）

2008年に完成
病棟・診療棟

2011年に完成
国際医療センター

2012年に完成
外来・研究棟（二期工事）

2016年に完成予定
新中央診療棟

完成予想図CG

駐車場

玄関

コリドー

長崎大学病院
長崎市坂本1丁目7-1
TEL.095-819-7200
<http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/>

特集2 進化する
長崎大学病院



手術室も増えます。

移転した新しい歯科の診療フロア。



POINT①
レイアウトが
変わった!

統一することで 患者主体の体制に

これまでは、同じ大学病院といっても医科と歯科の外來棟は別々になっており、入り口もまったく違っていました。それが二〇二二年、歯科の診療フロアが新外來棟六階と四階に移転、医科と歯科の外來が一本化したのです。最新設備が整った機能的なフロアは、パーテーションで区切られています。診療ブースも医科はすべて個室、歯科外來も半個室や個室対応で、プライバシーに配慮されています。

また医科のなかでも、これまでの内科、外科といったおおよかな区分けではなく、呼吸器内科と呼吸器外科、消化器内科と消化器外科を同じフロアにするなど臓器別に配置。確かに、呼吸器に異常があり呼吸器内科を受診して、切開となれば呼吸器

外科になるわけですから、ひと繋がりの方が利便性が上がります。そして産婦人科と小児科も同じフロアにすることで、情報共有や動きがスムーズに。全体として患者主体の診療体制になりました。

また、これまで各科それぞれにあつた採血や検尿、超音波検査などの検査部門も一カ所に集約し、医療効率もアップしています。病院は多くの人々が出入りする場所。そこで病院スタッフと患者、訪問客などの動線が交わらないよう、レイアウトが工夫されているのです。



エレベーターは明るい色調で、絵柄は各階異なります。

歯科と医科の 外來が一本化 臓器別のフロア構成に

わかりやすい受付 スムーズな診察

受付窓口も変わりました。混雑が少しでも緩和されるよう、再診患者のための自動再診受付機や自動支払機がずらりと並び、待ち時間が短くなりました。また再診患者には「外來誘導基本カード」が発行され、その日の診療内容が一目でわかります。携帯電話でカードのQRコードを読み込めば、診療が近くなる。お知らせメールが届くサービスも一部開始（病院内の特別な場所以外では携帯電話が使えません。コリドールなどでは無線LANもOK）。

とはいえ、初めての方や高齢者の方はとまどうこともあるでしょう。そこで、玄関を入ると正面に総合案内カウンターを配置。ここには大学病院を熟知している看護師長経験者など、案内スタッフが複数名待機。わかりやすく案内してくれます。

各診療フロアには外待合と中待合のスペースができ、大きな外來表示モニターで自分の番号が表示されるので、診察の順番を確認できるのです。

玄関横のコリドールは三階までの吹き抜け空間。大きなガラス窓で外の光を取り入れ、病院

受付や外來の混雑問題も デジタルとアナログで解決



吹き抜けのコリドール。

POINT②
外來が
スムーズに!

総合案内の大蔵久美さん。

の中とは思えない、ゆったりとしたスペースが広がっています。ときおり、ミニコンサートなども開かれるのだそうです。病院までのアクセスも改善。

コミュニケーションや無料シャトル便を運行、駐車場の混雑緩和をはかっています。

わからないことがあったらお気軽にお声をおかけください!



2度目からは再診受付機で受付もスムーズに。



見やすい診察順のモニター画面。



総合案内カウンターと受付窓口。



統合された呼吸器内科と呼吸器外科の受付。



小児科と産婦人科は同じフロア。

POINT③

病室を改善

入院患者の生活環境を快適にする

広くて眺めのいい病室と食事までできる談話室

かつて総合病院といえは、大人数の大部屋が普通でした。長崎大学病院でも六人部屋だったのですが、それが四人部屋に。しかも各部屋には洗面台を配置し、八割近くの部屋にトイレを完備しました。またフライパシーに配慮して個室も大幅に増やしています(全病室の三割)。特に入院患者に喜ばれているのが各フロアにある談話室。高台から素晴らしい眺望を楽しみながら、お見舞いの方のひとつを過ごせます。これまでは自分のベッドで食事をするしかなかった患者さんも、ここに運んで食事ができるようになりました。また、スタッフステーションはオープンカウンターになり、患者とスタッフが顔を合わせてやり取りできるようになりました。

一階と地下にはコンビニやATMのほか、おしゃれなキーキ店、理美容室などが展開し、ちょうとした街のようでもあります。



談話室。夜景もキレイです。



大人用紙おむつなど、品ぞろえも特殊なロウン。



4人部屋。窓が大きく眺めもよい。

二十四時間使えるシミュレータ

大病院の大きな役割の一つとして医療の実践的な教育と研修がありますが、臨床に近い研修現場の質が向上しています。例えば、院内にはベテランの医療スタッフのほか、多くの研修医や新人看護師がいます。この研修医一人ひとりのデスクが並ぶオフィスと、さまざまな医療用の技術訓練が二十四時間いつでも扱えるシミュレーション室。これらが、今回の改革で、医療教育開発センター内に整備されました。新しくできる新中央診療棟にも、最新シミュレータが設置され、研修医の宿泊用個室などが整備される予定です。また、院内には医学生のため二つの大きな講義室も完備し、

POINT④
研修施設の整備

教育機能を一角に集中させました。

研修医や看護師のための学びの空間を確保



研修医たちのオフィス。



200名収容できる講義室。



24時間使えるシミュレーション室。

長崎大学病院だからできる最前線の医療

POINT⑤
国際医療センター開設

スキルを磨いて「現場に強い」医療人に

外部からは見えにくいのですが、敷地の最奥部には、二〇一一年国際医療センターが完成しました。これは救命救急医療、感染症医療、緊急被ばく医療の三本柱で構成されています。

特に一番受け入れが多いのが救命救急センター。発足から三年、体制も整い、現在フル稼働です。救急医療には、軽症患者への一次救急から生命の危機に関わる三次救急までありますが、大学病院が扱うのは、より高度な治療が必要な三次救急の重症患者。そこで搬送から処置室や集中治療室、病室までの動線を確保し、治療や看護を速やかにを行います。特に脳卒中と外傷は、専門スタッフが集中して治療にあたっています。

また、感染症医療に関しても、感染症病棟、結核病棟などに加え、県内唯一の第一種感染症病棟を整え、安全で早急に治療できる医療環境を実現しています。

緊急被ばく医療では、県内の被ばく事故に備える役割のみならず、二〇一一年の福島での原発事故の折には、大学病院の医療スタッフが現地入りし、今も医療支援を行っています。

この国際医療センターを作ったことで、若手の医療関係者が、高度な救命救急や、より多くの臨床現場を経験し、専門の知識や技術を磨いて「現場に強い」医療人に成長していくのではないかと期待されています。



救命救急センターの病室には心電図などが一目でチェックできるモニターがついています。



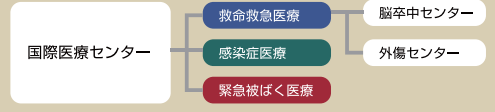
救急救命センターのスタッフステーション。



救命救急センター初療室にて治療にあたるスタッフ。



甲状腺線量測定の様子。



長崎大学は初めて 爆心地と 地続きになった

長崎原爆資料館館長 赤川賞作家

青来有一



せいらいゆういち
1958年長崎市生まれ。市立
城山小学校、蘭中、県立西
高、長崎大学と、すべて爆
心地から3km以内。今も長
崎原爆資料館館長として
活躍中。作家としては『聖
水』で第124回芥川賞を受
賞。ペンネームの由来はア
ニメ「セーラムーン」からと
言われるが「誤解です。本
当は違います。似たことな
い。でももう面倒なので放
置しています(笑)」。本名
は中村明俊さん。

作家と市役所の仕事は
つながっている

社会で活躍している長崎大学の
卒業生にインタビューする新企画
がスタート。

一人目は、作家で、長崎市の施設、
長崎原爆資料館の館長でもある青
来有一さんにご登場いただきました。
一九八一年教育庁の卒業生
です。写真撮影のため、資料館の
お隣にある国立追悼祈念館へ。

「原爆資料館の来館者はとても多
いのですが、実はここから専用通
路で追悼祈念館にすぐ行けること
はあまり知られていません。資料
館を見学したあとにはぜひ祈念館も
訪ねてほしいですね。被爆の凄惨

な資料を見ただけで帰られるのも、
少し辛い。その後に追悼の時間を
持つてもらえるといいな、と思い
ます。」

作家として、二〇〇一年、『聖水』
で第二・四回芥川賞を受賞。当時
から長崎市役所職員だったことが
話題になりました。

「四十代初めの受賞で、ある程度
の年齢でしたから、まわりの状況
もわかりましてね、こうした小説
では食ってはいけないだろう。間
違っても役所をやめてはいけない、
と(笑)」。

しかし定期的に作品を発表し、
伊藤整文学賞と谷崎潤一郎賞をタ
ブル受賞した『爆心』は、映画化
されて今年七月に公開とか。長崎
ロケもあったんですよね。

「はい。主演の北乃きいさんが長
大のグラウンドで撮影するという
ので、文教だとばかり思ってた
ついたら坂本キャンパスだった
(笑)。寒い日に夏のシーンの撮影
だということで、肉まんをたくさん
差し入れましたよ。皆さん喜んで
くれました。映画は楽しみです。」

それにしても役所の仕事と作家
活動の両立が大変でしょう。執筆
はいつするんですか？

「夜型で、人が寝静まつてから書
きます。日々の生活が自然に反映
してきますね。市役所の仕事つて
人と出会うのが仕事で、そうした
出会いや職場での経験が小説のヒ
トになることがあります。例えば
文化財担当のとき、市の中心部の
工事現場から、花十字の紋章がつ

いた瓦の破片がざくざく出てくる
のに立ち会ったことがあります。
そういう経験から『マジネーション』
をふくらませることもあります。」

小説は学生のころから？

「いえ、長大生時代、本はよく読
んでいました。濫読ですね。古い
小説も、新しい小説も。文庫も、
文芸雑誌も手当たり次第。村上春樹
さんのデビュー作『風の歌を聴け』
もリアルタイムで読みました。面
白い人が出てきたなあと。サーク
ルには入らず、友人数人と『ひま
じんオネオネ倶楽部』とふざけて
名のついでました。」

「冬は鍋を囲み、夏はソーメン
を囲み、飲んで、なにもしないで
おねーおねーしてました(笑)」。
今でもそんな学生いそうです。
「一般教養の講義に遅刻して、あ
わてて教室を間違えて、文化人類
学の講義に飛びこんだことがあり
ました(笑)。周りは知らない学
生ばかり。まあいいや、と聞き始
めたら面白くて、それをきっかけ
に文化人類学の本を読むように。
あと西洋美術史の講義もおもしろ
くて、フィレンツェを訪ねたとき
は感動したなあ。大学は専門家を
養成する場所ではあるんだろうけ
れど、私には一般教養の講義がと
てもおもしろかった。いろんな引
き出しを持つことが大切だと、社
会に出てから特に実感しますね」。

爆心地3km以内に 生きているということ

青来さんは、昨年長大にできた
RECN A (核兵器廃絶研究セン
ター)にも協議会副会長として参
画されています。文教キャンパスに
もときどき足を運ぶんですよ。

「はい、帰ってきたな、という気
分です。大学で新しく作っているの
いくものお手伝いができるのは
嬉しいことです。私は小中学校と
ずっと爆心地から3km以内で育っ
てきて、被爆の歴史を意識してき
ました。ところが大学に入ると、
きれいなキャンパスで別空間。で
もこの場所には兵器工場があって
多くの方が亡くなったのも事実で
す。RECN A ができたことで、
長崎大学は長崎の大学としてやっ
と爆心地と地続きになりました」。

作家としてのテーマを「人間と
神と信仰の関わり——人間は神様
を棄ててきたのではないか」とし、
長崎の歴史を題材にしながら心の
なかを掘り下げていきたい、とい
う青来さん。長崎で生きていく意
味を見つめながら幅広く活動して
いく、こんな先輩がすぐ近くに
いて大学に関わってくれる、なん
とも頼もしい存在です。



本当のプロフェッショナルを見よ

寺島実郎から長大生へのメッセージ



昨年のリレー講座において
講演者にトークセッションを挑んだ学生たちへ、
最終回の講演者であり、リレー講座の生みの親でもある
寺島実郎さんから熱いメッセージが届きました

学生たちの問題意識に期待したい

私は、このリレー講座は初回から継続的に参画しながら向き合ってきたので、長崎大学のポテンシャルをよく理解している。実際に話してみても思ったのは、みんな非常に積極的なものごとに参加しようとしていることだ。そういう視点は大事にしてほしいと素直に思う。

リレー講座の狙いは、「気づき」。語りかけてくる人のメッセージや、その価値観のなかに、「おや？」というヒントを感じとって自分自身で吸収していくのが、この種の講座に参加する意味である。出来上がったしまった固定観念で話を聞く人は、吸収できない。どう

もうひとつは、SMAPの「世界に一つだけの花」が伝えている価値観から、早く脱却してほしいということ。自分は一入ひとり輝く花なんだよ、と個性化教育でおだてられて大人になる。しかし会社入ると「お前のような花なんかどうでもいい」と言われ、パーコードをなぞるような仕事に絶望して「ボキン」と折れて、三年間で約三割の新社会人が仕事を辞めてしまうという。真実は、踏みつけられてから、なにくそ魂で身に付けていったものが本当の「花」だ。要は甘さからどう脱却していくか。人間だれしも、太刀持ち露払い付きで生きていけるわけではない、本能的に「なにくそ」と思っ立ち向かっていくこそが、生き延びていくのだ。会社の部品で終わらせない人生を目指すならば、踏みつけられるストレスに耐える力を身に付けなければいけない。

んな人の話にも、ひとかけらの価値を感じ取って、ノートに片隅に書き取る。それを漫然と受け止めるだけでなく、学生としてなんとか理解して自分たちの疑問をぶつけていく、その根性と問題意識は大切である。

大学は無風状態で保育器のなかと同じ

今回の学生トークセッションでは、学生からある質問が投げかけられた。ちようと衆院選で政権交代した直後というところもあり、政治についてもいろいろ思うところがあったらしい。「今の日本への満足度は何点か?」。それでは即座に「五〇点以下だ」と答えた。

なぜならば、今の日本の貧困化が進んでいることはあきらかだから。年収二〇〇万円以下の人が三十四%、労働人口の三人に一人以上が、時給千円で必死に働いても二〇〇万円しか収入がないという現実。これでは若い人たちが結婚したり家族を養ったりできない、つまり未来に希望を持てるわけがない。日本の足元である「この国は何で飯を食っていくか」ということを、政治家の責任と言いつけるのではなく、我々自身が考えなければいけない。そういう大事なときにさしかかっている。

学生たちは私の話を驚きをもって受け止めた。後で聞いた話では、彼らのなかでの答えは、満足度五〇点以上が七割だったらしい。大学というのは無風状態で、いつてみれば保育器のなかと同じ。だから学生は現状に対してあまり不満を持っていないらしい。深い問題意識を持って世界を見渡せば、とても五〇点以上とは言えないだろう。今の学生たちのもつとも不幸なことは、まっとうな大人と出会っていないことだと思ふ。二両親や先生をふくめて、今の大人は右肩上がりの高揚感ではない、右肩下りの時代の人々。「この人を越えていくことが自分の人生だ」と



てらしまじつろう
日本総合研究所理事長・多摩大学学長、早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。三井物産常務執行役員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授を経て、現職。著書に「世界を知る力 日本創生編」(PHP新書)。

そういう意味では、リレー講座のような学びの機会は一まっとうな大人として何なのだろう」という疑問に向き合う絶好の機会となるのではないか。世の中に向かって戦っている人、発信している人、テーマを持って本気で生きている人。その人たちの存在を受け止めるチャンスなのである。

プロジェクトの学生たちは、次はリレー講座に誰を招くか、企画から参画してみたいという話もあると聞いた。実際にやってみたらいい。そうすればわかることがきっとあるはずである。本当のプロフェッショナルは時間とお金に対して大変厳しい。なぜならば、それまで時間を刻む思いで自身の力を練磨してきているため、それを誰かに与えるには、それなりの手こたえと納得感を求めるものだからだ。しかし何事もトライするのはいいこと。問題意識を持って、なにくそ魂を忘れてはならない。

長崎大学は、それが許される恵まれた大学なのではないだろうか。

長崎大学リレー講座 学生トークセッション



第1回 講師 マイケル・グリーン



第2回 講師 為末 大



第3回 講師 北城格太郎



第4回 講師 原田泳幸



第5回 講師 黒川 清



第6回 講師 寺島実郎

茶色の横じま模様

好評の連載シリーズ、半年ぶりの再登場です。今回、山口敦子先生にご紹介いただくのはテンジクダイです。

「テンジクダイは、最大でも全長10cm程の小さな魚で、日本各地の沿岸、南シナ海から西部太平洋に生息しています。浅海域に生息するネンブツダイなど、テンジクダイ科の多くが赤色をはじめとした色鮮やかな魚です。これらの仲間を総称して「Cardinal（枢機卿）fish」と呼ぶのも、枢機卿が赤色の服を身にまとうことにちなんだもの。しかし、深い沿岸の内湾域に生息するテンジクダイは少し違います。「アラバール図譜」では、透明感のある白色の体と十本の茶色い横じま模様の上にわずかに虹色の輝きが重なり、気品のある姿が表現されています」。

え？ 縦じまに見えますよ。
「魚で言うところのしま模様は、頭を上、尾を下にして見ます。それでテンジクダイの模様は横じまとなるわけです」。

なるほど！ 勉強になります。
「テンジクダイ属を表す属名Apogonは、ギリシャ語で『否定』とpogon（ひげ）とが組み合わさったもので、『ひげがない』ことを意

雄の子育てに 隠された秘密

「テンジクダイは子育てをする魚です。雄と雌がペアとなり産卵放精を行った後、雄はすぐさま雌が産み出している卵塊を口の中に受け取ります。それからしばらくの間、雄は餌も食べずにひたすら卵塊を守るのです。口内保育を始めてから約一週間後、口を大きく開けて孵化した仔魚をいっせいに大海原へと送り出すと、しばしの回復期を経て再び繁殖、夏の間はこうして単独での育児に励みます」。

「しかし、そこには秘密があるんです。可愛いはずのわが子を食べさせてしまうことがあるのです。雄が痩せ細りながらも行う子育ては大変なもの。そのため、雌が産んだ卵塊が期待に添わず小さいときには、それを食べてしまい、もつと大きな卵を産んでくれそうな新しい雌を探すのです。だから雌にとっては、出来るだけ大きな卵塊を産んだ方が有利です。私たちは、テンジクダイが近縁の仲間比べて大きな卵塊を産むことを明らかにしました。しかし、そこには更なる秘密があったのです。東京湾

味します。なぜわざわざ顎ひげがないことにちなんだ名前が付けられたのでしょうか。一七五八年、生物分類の体系化を行ったことで知られる博物学者のリンネが、ヒメジ科の一種として記載した魚は、

実際にはヒメジの仲間ではありませんでした。ヒメジの仲間が長い顎ひげを持つのが特徴ですが、その魚にはひげはありませんでした。そこで一八〇一年に、フランスの博物学者ラセペードは「ひげがない」との意味を込めた新たな属Apogonを提唱したのです」。

骨ごと食べられる 瀬戸内の郷土料理

「長崎県では大村湾や有明海といった内湾で底曳網により漁獲されているものの、あまり利用されていません。しかし、大阪泉南地方や岡山、広島などでは「ねぶと（めぶと）」、加えて香川では、大きな耳石を指す「石持ち」といった地方名があり、郷土の味の一つとなっています。耳石の入った頭部を取り除き、唐揚げ、天ぷら、すり身揚げなどで美味しく食べられます。学校給食でも地域限定の「ねぶと」のから揚げ」が提供されています」。

で漁船に乗せてもらっていた学生時代のこと、口内保育中のテンジクダイの卵の色がおかしいことに気づきました。その後の研究で、テンジクダイの雌がタミーの卵を産生していることが分かったのです。雄に食べられないように、雌は偽の卵をいくらか混ぜた大きな卵塊を雄の口にくわえさせ、雄を子育てモードへと導くわけです。顕微鏡で見ると、卵の大きさはほぼ同じくらいなのですが、黄色い卵黄で占められている本物の卵とは対照的に、無色透明なタミー卵には水分以外に何も入っていないことがはつきりわかりました。

タミー卵を産む魚がいることは、それまでまったく知られていなかったもので、その発見に驚き、生命の神秘に感動した瞬間でした。すこい！新発見だ！海の生物にはまだまだ多くの秘密が隠されているんですね。



解説 山口敦子
長崎大学水産・環境科学総合研究科教授
Yamaguchi Atsuko
東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。2000年から長崎大学。専門はエイやサメなど魚類学と水産資源学の研究。主な著書に「干潟の海に生きる魚たちー有明海の豊かと危機」(東海大学出版)など。

Glover Atlas テンジクダイ

Apogon lineatus

画家 萩原魚仙

グラバー図譜

日本西部及び南部魚類図譜

Fishes of Southern & Western Japan

長崎大学が地域に開かれた大学であることをもって認識していただくために、4月1日にリニューアルオープンした附属図書館と長崎大学病院を特集として取り上げました。附属図書館は知の貯蔵庫として、長崎大学に学ぶ学生諸君はもちろんのこと、一般市民の方々にもご活用いただきたいの思いから紹介しております。長崎大学病院は患者さん目線の診療を大事にし、より受診しやすいシステムが取り入れられています。これからは新たな施設と最新鋭の機器が取り入れられ、高度医療の拠点として進化し続けることでしょう。「卒業生に聞く」を新たに企画いたしました。初回は、芥川賞作家「青来有一」さんです。久々の「グラバー図譜」もお楽しみください。

(原田哲夫)

[編集・発行]
Choho 企画編集会議

編集長

原田 哲夫 広報戦略本部副本部長
工学研究科 教授

編集委員

- 堀内 伊吹 副学長、教育学部 教授
吉田 高文 経済学部 教授
相楽 隆正 工学研究科 教授
松下 吉樹 水産・環境科学総合研究科 准教授
池田 幸恵 水産・環境科学総合研究科 准教授
小林 信之 医薬学総合研究科 教授
堀尾 政博 熱帯医学研究所 教授
佐々木 均 病院 教授
深尾 典男 副学長、広報戦略本部本部長 教授
長友 佳織 広報戦略本部 主査
西村 司郎 広報戦略本部 専門職員
高藏 祐亮 広報戦略本部
田村 匠平 広報戦略本部

編集 川良 真理
デザイン 三浦 秀樹
企画編集アドバイザー 浅野 眞

TEL.095-819-2007
FAX.095-819-2156
(E-mail)
www_admin@mfn.nagasaki-u.ac.jp

プレゼントクイズ

長崎大学 通 クイズ

長崎大学に関する知る人ぞ知る新事実が続々登場するクイズです。さあ、あなたはどれが本当だと思いますか？

156年という日本最古の歴史を誇る長大医学部。1857年、ボンベが長崎奉行所で近代西洋医学の初講義をした11月12日が医学部の開学記念日です。

当時の様子は、ある小説にもなっています。書いたのは誰でしょう？ ヒント:ガイドブック「数字で見る長崎大学」また「写真で見る医学部150年の変遷」に載っています。

遠藤周作



1

夏目漱石



2

司馬遼太郎



3

解答は挟み込みのハガキにご記入のうえ、郵送してください(アンケート内容もしかりご記入ください)。正解者の中から抽選で5名の方に長崎県産品をプレゼント!

前号の答え

Q 昨年の長大祭で本当にあった出し物は何？

① 就活を占い、「内定クッキー」をあげる手相占い

これは経済学部の林徹セミのチームが催した出し物で、占いが趣味の学生数人が占い師になりました。就活をはじめ恋愛や金運占いも大好評で、テントには順番待ちの行列ができたほど。占い後にあげた手作りの「内定クッキー」も、学生に喜ばれたそうです。



今回のプレゼント



甘いチョコレートとほろ苦いコーヒーのハーモニーは、まさに大人のチョコレート。長崎可吾齋のドリップバックコーヒーとの詰め合わせです。

江戸時代に長崎出島から日本中へ広まったとされるインドネシア産のコーヒーとチョコレート。この2つをいっしょにしたのが「食べるコーヒー」「ビーンズよくらあと」。新鮮なコーヒー豆をチョコレートでコーティングしたもので、第44回長崎県特産品新作展菓子・スイーツ部門で最優秀賞を受賞しました。今回は正解者の中から5名の方に、このお菓子とコーヒーのセットをプレゼント。

提供 / 松尾コーヒー TEL.095-824-1450

長崎県物産館 TEL.095-821-6580 http://www.e-nagasaki.com/contents/n_bussan/

平成25年度 長崎大学公開講座

4月~9月

核兵器のない世界をめざして

平成25年4月11日(木) 18:00~20:00
平成25年6月29日(土)、7月20日(土)、9月28日(土) 13:30~15:30
平成26年1月18日(土)、3月15日(土) 13:30~15:30 全6回
講師 / 梅林宏道(核兵器廃絶研究センター教授)他3名
対象 / 一般市民・学生 定員 / 50名 受講料 / 無料 申込 / 不要
問 / 核兵器廃絶研究センター TEL.095-819-2164 FAX.095-819-2165

第3回附属薬用植物園における薬用植物
~身近な生薬と民間薬から見た薬用植物~

平成25年5月11日(土) 9:30~12:30
会場 / 薬学部講義室ならびに薬用植物園
講師 / 山田耕史(医薬学総合研究科 准教授)
対象 / 一般市民 定員 / 15名 受講料 / 無料 申込 / 電子メール・FAX・往復はがき
申込先 / 医薬学総合研究科 学術協力課 企画調査係
〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
FAX.095-819-7199 E-mail gakujuutu_kikaku@mfn.nagasaki-u.ac.jp
問 / 医薬学総合研究科附属薬用植物園 TEL.095-819-2462
FAX.095-819-2462 E-mail kyanada@nagasaki-u.ac.jp

第6回平戸と長崎大学で育てる地域医療
「平戸市生涯学習連携講座」

平成25年5月25日(土) 15:00~ 会場 / 平戸市文化センター
講師 / 山口育子(さきあい医療人権センターCOML 理事長)
対象 / 一般市民・医療スタッフ・学生 定員 / 500名 受講料 / 無料 申込 / 不要
問 / へき地病院再生支援・教育機構平戸臨床拠点 TEL.0950-20-3006 E-mail hekichibyoin@saisei@gmail.com

第9回長崎脳卒中市民公開講座

日時 / 平成25年5月(未定)日(土) 午後 全1回 会場 / 未定 講師 / 未定
対象 / 長崎市民 定員 / 300名 受講料 / 無料 申込 / 不要
問 / 長崎大学病院 脳神経外科医局 TEL.095-819-7375 FAX.095-819-7378
※開催前に新聞広告を出す予定です。詳細につきましてはそちらをご覧ください。

社会人のための英語運用能力開発コース
~「やさしい英語」の多読・英会話・英作文の訓練を中心に~

平成25年5月~平成25年11月(8月を除く) 全6回
①第4日曜日 14:00~16:00 ②要相談
会場 / ①長崎大学 産学官連携戦略本部 2階研修室
②生涯学習ひろば(対馬市上対馬町比田勝889)
講師 / 大坪喜子(長崎大学名誉教授)
対象 / 一般市民(特に、仕事上、英語を使う必要がある方)
定員 / ①10名 ②5名 受講料 / 7,200円 申込 / 電子メール・FAX・電話
申込・問 / 産学官連携戦略本部 人材育成部門 生涯教育部
E-mail sou-yuko@nagasaki-u.ac.jp
TEL.095-819-2233 FAX.095-819-2236

わが国のグローバル人材育成における大学の使命:経済学部を取り組み

平成25年6月1日~平成25年6月29日(8日を除く) 毎週土曜日14:00~15:30 全4回
会場 / 経済学部新館101 長崎市片淵4-2-1
講師 / 須登正幸(副学長)、工藤健(経済学部 准教授)、
井田洋子(経済学部 教授)、松山章子(国際健康開発研究科 教授)
対象 / 高校生・教育関係者、大学生、人材育成に関心のある一般・企業関係者
定員 / 50名 受講料 / 無料 申込 / 電子メール・FAX
申込・問 / 経済学部支援課総務係 E-mail eco@mfn.nagasaki-u.ac.jp
TEL.095-820-6305 FAX095-820-6370

- 講座内容・申込方法などの詳細は直接お問い合わせください。
●解説時期・時間などは都合により一部変更することがありますので、ご了承ください
●講座内容・申込方法の詳細は、長崎大学公開講座ホームページでもご覧いただけます。http://www.erc.nagasaki-u.ac.jp/
●公開講座全般に関するお問合せ先 / 長崎大学 産学官連携戦略本部 人材育成部門 生涯教育部 TEL.095-819-2233

被爆者健康講話

平成25年6月20日~平成26年3月20日 毎月第3木曜日 15:00~16:00 全10回
会場 / 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館・五島市福江総合福祉保健センター
講師 / 高村昇(原爆後障害医療研究所 教授)他9名
対象 / 原爆被害者・市民 定員 / 各会場40名 受講料 / 無料
申込 / 電話、当日会場でも受付可能です。
申込・問 / 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 健康講話係 TEL.095-814-0055
※五島市福江総合福祉保健センターはインターネットでの中継講話となります。

未来社会に向けた工学技術の創出
~グリーン・ライフ・インフラ分野におけるイノベーション~

平成25年夏休み期間中 毎週金曜日 13:30~16:40(途中10分休憩) 全5回
会場 / 工学部 サイエンステックラボ2階 セミナー室2
講師 / 蒋宇静(工学研究科 教授)他9名
対象 / 一般市民・教員・高校生・技術者 定員 / 50名
受講料 / 無料(テキスト代 1000円を徴収いたします。) 申込 / 電子メール・FAX
申込・問 / 工学研究科 蒋宇静(工学研究科 教授) TEL.095-819-2612
FAX.095-819-2488 E-mail jiang@nagasaki-u.ac.jp

遺伝学講座 XI 遺伝について楽しく学ぼう

平成25年8月27日(火) 13:00~16:30(受付12:30より)
会場 / 医学部保健学科 体育館(長崎市坂本1丁目7-1)
講師 / 宮原春美(医薬学総合研究科 教授)他3名
対象 / 小学校高学年(親子、きょうだいででの参加も歓迎します) 定員 / 30名
受講料 / 無料 申込 / 電子メール・FAX・電話
申込先 / 医薬学総合研究科 学術協力課 企画調査係
E-mail gakujuutu_kikaku@mfn.nagasaki-u.ac.jp
TEL.095-819-7195 FAX.095-819-7199
問 / 医学部保健学科 担当者佐々木・藤原 TEL&FAX095-819-7952

生き生き健康ライフ講座 XⅢ

平成25年8月31日(土)、平成25年9月7日(土) 13:30~16:00 全2回
会場 / 長崎大学病院 第4講義室
講師 / 田中宏曉(福岡大学 スポーツ科学部 教授)、柳本志(口腔顎顔面外科室講師)、
金高賢徳(移植・消化器外科講師)、花田浩和(栄養管理室室長)ほか2名
対象 / 一般市民・看護師・栄養士・保健師(か医療関係者・学生
定員 / 100名 受講料 / 無料 申込 / 往復はがき・電子メール
申込・問 / 長崎大学病院 生活習慣病予防診療部
〒852-8501 長崎市坂本1-7-1 TEL.095-819-7550
FAX.095-819-7552 E-mail iki_ki@mfn.nagasaki-u.ac.jp

哲学講座:フクシマとナガサキ
ー長崎にあって哲学する(2)

平成25年9月12日(木)~9月26日(木) 毎週木曜日 14:00~16:00 全3回
会場 / 長崎大学 産学官連携戦略本部 2階研修室
講師 / 高橋眞二(生涯教育部客員教授)、糸山景大(長崎大学名誉教授)
対象 / 一般市民 定員 / 50名 受講料 / 無料
申込方法 / 往復はがき・電子メール・FAX
申込・問 / 産学官連携戦略本部 人材育成部門 生涯教育部
〒852-8521 長崎市文政町1-14 TEL.095-819-2233
FAX.095-819-2236 E-mail sou-yuko@nagasaki-u.ac.jp

長崎県がん診療連携拠点病院 県民公開講座
「がんについてよく考えよう」

平成25年9月~10月 土曜日 全1回 会場 / 未定
講師 / 未定 対象 / 長崎県民 定員 / 250名 受講料 / 無料 申込 / 不要
問 / 長崎大学病院 がん診療センター TEL.095-819-7779 FAX.095-819-7776